

岡労発基 0319 第 1 号  
令和 6 年 3 月 19 日

建設業労働災害防止協会

岡山県支部長 殿

岡山労働局長



型枠の崩壊・倒壊防止対策の徹底について（緊急要請）

令和 6 年 3 月 18 日、岡山市北区駅前町の再開発事業に伴うマンション新築工事現場において、地下部のコンクリート壁築造のため、壁型枠を組み、そこにコンクリートを打設していたところ、打設作業のために設けていた足場と共に型枠が崩壊し、6 人が死傷、うち 1 人が死亡するという重大な災害が発生しました。

原因等詳細については現在調査中ではありますが、型枠を用いてのコンクリート打設は建築、土木等の工種に限らず、広く建設工事現場で行われている作業であることから、同種災害防止のため、会員等関係者に下記について周知をお願いします。

## 記

### 1. 工事全般について

工事が安全に行えるよう労働災害防止対策を盛り込んだ、工事全体及び各作業に関する作業計画を立て、その計画に基づいて作業を行うこと。

### 2. 型枠について

- ① 型枠へのコンクリート打設を行う際にも、1. により計画を立て、作業を行うこと。
- ② 型枠は、コンクリート打設量、打設時の衝撃荷重及び偏荷重、型枠に足場を設けるのであれば足場の重量や積載荷重等、型枠にかかる荷重に対して十分な強度を有するものとする。
- ③ 型枠が計画通りに設置されているか確認すること。特にコンクリート打設前には、異常がないか点検を行うこと。